

市長への手紙 ご意見とその回答(令和7年4月)

質問	<u>龍ヶ崎小学校 スクールバス利用範囲の拡大について</u> 大宮小学区の児童だけでなく、学区外に近い(バス停留所の近くの児童)龍ヶ崎小学校の児童も希望者には利用可能にして頂きたいです。 登校距離が長いこと事故のリスクが高いこと、子供の数が少ないため、欠席の児童などがいるとさらに少人数での登校となり事件、事故などの心配がある、シルバー見守りの方が少なく下校時には1人で下校する距離が長い。などの理由があります。 入学前からそのような不安は抱えていましたが、この地区の子供達のためだけにスクールバスを通してもらうのは難しいと思い諦めていました。 ですが今回、大宮小学校との合併によりスクールバスが通ったことで利用可能範囲を拡げる事は可能ではないかと思い、意見として出させて頂きました。 子供達の安心、安全のためぜひご検討よろしくお願い致します。
回答	登校距離が長いということで、お子さんの登下校をご心配なさるお気持ちはお察しいたします。 しかしながら、教育委員会所管のスクールバスは、小学校の統合により閉校となり学校が変わった児童用に運行しているところです。大宮地区の児童は、これまで比較的長い距離を通学していましたが、統合により学校がさらに遠くなってしまいました。 このようなことから、ご希望に添えず大変申し訳ございませんが、現在の龍ヶ崎小学校の学区にお住まいの児童は対象としておりませんので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。 【担当:教育総務課】

質問	<u>6号の合流の改善を国に要望願います。</u> 龍ヶ崎大橋から6号国道上り線に合流する交差部は赤いポールが設置され、1車線に合流します。 いつも渋滞がみられ危険です。 何のためにポールがあるのか理解できません。 次の信号までに本線の牛久沼大橋と龍ヶ崎市街に順次分散すれば最善だと考えます。 以前、個人的に常陸河川国道事務所に要望を封書で出しましたが何の対応無しです。 市でも現状を把握していただき、実現出来るよう適切な窓口に市の要望として相談願います。
----	---

回答	本市でも、国道6号はご指摘の箇所を含めて、朝夕を中心に慢性的な交通渋滞が発生していることを確認いたしております。 これまでも、本市では取手市とともに国道6号の4車線化について、国土交通省をはじめとする関係機関に対して要望活動を実施しておりますが、今後も継続して強く要望して参ります。 また、今般いただきましたご意見については、本市からも常陸河川国道事務所にお伝えさせていただきます。 【担当:道路公園課】
----	--

質問	<u>A1とマリッジサポーターとのジョイント</u> 婚活事業の1つとして、今年度からA1を取り入れるという事をお聞きしました。 A1とマリッジサポーター(各称は異なるが)がタッグを組んで結果を出しているのが愛媛県です。 愛媛県方式を取り入れて、龍ヶ崎で婚活した人たちが、出産して定住していけば、人口増加になり、龍ヶ崎の発展につながると思います。何事も結果を重視する必要があると思います。ぜひご検討願います。
回答	ご提案のありました愛媛県の事例(A1とマリッジサポーターとのジョイント)については、茨城県においても「であイバ」という結婚支援サービスの一つとして同様の取り組みが行われています。 本市における婚活支援の取り組みとしては、マリッジサポーターの皆さんとの協力・連携により相談会を開催するほか、若者の出会いの場の創出としてイベントの開催やいばらき出会いサポートセンターへの登録料助成などを実施しています。 さらに、今年度から新たな取り組みとして、民間事業者のマッチングアプリの利用料助成を開始し、婚活支援の取り組みの充実を図ってまいります。 【担当:まちの魅力創造課】

質問	<u>我が町の道の駅!</u> 私は道の駅に平日によく出掛ける。「常総」「笠間」や遠くは「川場田園プラザ」にも3回は行った。立地条件は良くないが、いつも大混雑している。 常総はTVの紹介もあるが、目玉のメロンパンはまだ買えていない。 笠間は栗をベースとしたスイーツを販売しているが、今でも結構賑わっている。 我が龍ヶ崎の計画はよく判らないが、牛久沼で当初計画から大幅な縮小
----	---

	と聞いているが残念だ。 近くの道の駅が3年過ぎても賑わっている中で、トイレがある程度のもので道の駅と言えるだろうか？6号沿いにかかわらず広い場所で常陸牛、うなぎ、やきいも、コロッケなどおいしい物を沢山食べたり、ゆっくり休める特長のある施設を考えてほしい！
回答	本市の「道の駅整備事業」につきましては、国等関係機関との協議を経て、令和6年2月に中止することといたしました。 その中止とした要因としましては、牛久沼越水による被害発生や整備予定地の安全性への不安、財政状況の変化、更に市民の皆様や市議会からのご意見などを踏まえ、総合的に判断した結果でございます。 なお、これまでの経緯など詳細は、市公式ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。 また、牛久沼の利活用につきましては、多くの市民の皆様から期待されているところであり、本市といたしましても、貴重な地域資源であるとの認識に変わりはありません。今後、牛久沼活用推進協議会をはじめ、改めて市民の皆様のご意見などを伺う機会を設けながら、利活用について検討して参りたいと考えております。 【担当:まちの魅力創造課】